



陽光

Vol.15
通巻92号



人と人がつながる仕掛けづくり

～ただゲームをやっているだけに見えそうですが～

世の中の急速なオンライン化は、居場所である「風(F00)」「光(K00)」の居方にも大きな影響をもたらしています。

ここ最近の「風(F00)」活動室の様子を例に挙げます。各自がタブレットを持ち、好きなサイトを見ながらユーザー同士が会話している、という光景をよく見かけます。個と仲間との間を行ったり来たりしている感じ。20年前にはなかった状況で、時代の流れを感じます。極端に言えば、しゃべらなくても画面さえ見ていれば居られる時代になりました。「光(K00)」も状況は似ています。

それでも、ここに来れば話せる・つながれる「居場所」として人と人が交流できる場が「風(F00)」「光(K00)」です。

今年始まった活動を2つ紹介します。

① 「風(F00)」「G&M(ゲーム&ミュージック)」 毎月第一土曜 13:00～16:00 半地下室にて
企画立案の理由…新しいユーザーの関心があることを取り入れ、交流を図るとともに、コロナ禍で低下した活動性を高めるために取り入れました。

※コロナ禍前は、皆で外出、料理、クラブ活動など、仲間と多くの体験を積んできました。そのためか、活動室での共通話題が多くありました。現在は活動が低下し、共通の話題は減ってきています。新しいユーザーにとっては「何をきっかけに話をしたらいいか」と戸惑う状況があると見えます。

内容…主にボードゲーム。BGMで好きな音楽を流す。運営の仕方は参加ユーザーと話し合う。ユーザーの出入り自由で、時間内であればいつ来ても帰ってもよい。

② 「光(K00)」「遊びの盛」 毎月第2月曜 13:00～14:00 活動室にて

企画立案の理由…新型コロナウイルス発生から2年が経過し、ユーザーの活動が低下しました。コロナの感染状況を見ながら、公民館での食事会や映画館に行く、レストランで食事をする、落語を聞きに行くといった地域活動を展開したいと考えています。その時のために活動性の維持が必要と考え、「遊びの盛」「文化の守」「赤坂キネマ」を取り入れました。

内容…将棋、オセロ、トランプ ユーザーの出入りはこちらも自由。

「文化の守」…芸術活動を動画で観る。現在は落語のDVDを観ています。

「赤坂キネマ」…昭和の懐かしい映画を観る。現在は「男はつらいよ」を観ています。

活動の様子を次頁をご覧ください。

(「風(F00)」施設長 河原井まゆみ)